

発達支援センターだより

平成28年度 秋号

平成28年10月5日発行 守山市発達支援センター
守山市下之郷三丁目2番5号 守山市福祉保健センター（すこやかセンター）
Tel：077-582-1158 Fax：077-581-1628 E-mail: hattatsu@city.moriyama.lg.jp



あゆっ子教室の子ども達の一番熱い夏！みんな思い思いに楽しみました。



ドラえもんから出てきたのは何かな？キラキラ光るうちわ！きれいな色だね



今年は「かにこぞう」さんによる人形劇 どんなお話かな？ みんな目を輝かせて観ていました。

あゆっ子（療育）教室夏まつり

日時：8月6日（土）17:50～19:10

場所：すこやかセンター

対象：あゆっ子教室通所児童及び家族

あゆっ子教室終了1年目児童及び家族



今年もあゆっ子教室の夏まつりを行いました。あゆっ子教室の夏まつりは、「地域のお祭りに参加しにくい」との保護者の声から始まりました。たくさんの方が苦手な子ども達には、落ち着いて過ごせる別の場所を用意しました。

今年のお楽しみ会は、「かにこぞう」さんによる人形劇を行いました。子ども達は前に集まり、集中して見ることができました。

コーナー遊びでは、ボールを取って同じ色の家に持っていくと、家の中からヨーヨーが出てくる色のマッチング等、療育の要素を取り入れた遊びを設定しました。

アンパンマン音頭では、音楽が流れると担当保育者の周りに集まり、一緒に踊る子ども達もいました。

お祭りの最後は、恒例となった花火で締めくくりです。噴出型の花火を横一列に並べて一斉に点火するために迫力があり、驚いてしまう子どももいましたが、子ども達は楽しいひと時を過ごしました。

参加者の声（一部抜粋）

- 今年のお楽しみ会は人形劇と、今までのジャグリングや生バンドと趣向が違って良かった。
- 家庭では花火を見に行くことが難しいため、毎年夏祭りの花火を楽しみにしており、子ども達も楽しく花火を見ることができた。

～進路交流会～

日時：8月3日（水）9:30～11:30

場所：すこやかセンター 3階講習室

対象：特別支援を要する中学生とその保護者
発達障害に関心のある保護者（小・中）

市内各校園の教職員・保育士等

参加者：59名



現在就労している卒業生やその保護者さんから、学生時代の話、進路をどう決めたか、今の生活についてそれぞれ発表していただきました。また、今回から、発表後に発表者ごとのグループに分かれて、質問・意見交換を行いました。参加者が発表者に直接質問できる機会となり、例年よりも具体的に活発な意見交換を行うことができました。発表していただいた保護者さんから、「本人の意思決定を大切にしたい」との思いが語られたことは印象的でした。現在の本人さんの充実した様子からも、本人を中心に考えていくことの大切さを改めて実感しました。今後の進路を考える上で、参考になる意見がたくさん出ていました。

参加者の声（一部抜粋）

- ・将来の見方、考え方が参考になった。それを踏まえて、今何をすべきか考えやすかった。
- ・「本人を認めてから親としてのアドバイスを行う」という接し方を教えていただいた。

第1回特別支援教育研修会

演題：校・園で活かせる感覚統合アプローチ
講師：小西紀一先生（姫路獨協大学医療保健学部）



日時：8月19日（金）14:45～16:45

場所：すこやかセンター 3階講習室

対象：市内各校園の教職員・保育士等

参加者：120名

昨年度のアンケート結果より、現場の先生からのニーズが高かった「感覚統合」について、研修会を行いました。感覚統合の視点から、子どもの脳機能について説明され、子どもの行動をよく観察し、どんな感覚のつまずきがあるのかを知ることで、子どもとどのように関わればよいのかを学ぶことができました。少し難しい内容でしたが、小西先生の映像等を用いた具体的でわかりやすい説明により、アンケート結果から参加者の93.8%が「よかった・まあまあよかった」と感じておられ、感覚統合アプローチへの理解に近づけることができました。

参加者の声（一部抜粋）

- ・子どもの脳の特性を理解することで、関わり方を工夫する大切さを知りました。今までのアプローチでは、難しいと思う子どももいるのだと学びました。

今後のスケジュール

10月～ 後期療育教室開始

11月28日（月）

第2回特別支援教育研修会

11月上旬～下旬 第2回巡回訪問（園）

12月 3日（土）

市民啓発講座